

# あきる台たいむす

## Akirudai Times



さつき薬局

秋川店

(042) 558-8416

【あきる台病院すぐ前】

介護用品・一般薬品・保険調剤

月・火・水・木・金 9:00~18:30

土 9:00~13:00

※日曜・祭日はお休みです

発行所



医療法人財団 暁

あきる台病院

〒197-0804

東京都あきる野市秋川6-5-1

TEL (042) 559-5761

FAX (042) 559-8054

2006年(平成18年) 3月 1日

第7号

発行人: あきる台病院(医療福祉相談室)



富家 孝(ふけ たかし)

1947年生まれ。72年、東京慈恵医科大学卒業。病院経営。日本女子体育大学助教授、早稲田大学講師、青山学院大学講師を歴任、現在は新日本プロレス・コミッションDr。著書は「病気とは闘うな 医者と闘え」(光文社)等57冊。

<http://www.fuketakashi.com/index.htm>

「あきる台クリニック」院長の富家孝(ふけ たかし)です。去年の10月、学生時代からの相撲仲間である、「あきる台病院」の伊藤正秀先生(日本医大相撲部監督。私自身は慈恵医大相撲部総監督)のご紹介で院長に就任させて頂いた頂きました。私の座右の銘は「信ずるより確かめよ」です。何事においてもデータのみでの判断では決まらず、かめら自分の目と感性で直接確かめることが、最も重要と考えられています。したがって患者様に対しても直接的な触れ合いが何よりも大切と考えております。しかも、生真面目かつ暗いのは苦手です。から、患者様への接し方は常に「軽く、明るく、調子よく!」が私流です。とにかく気分が弱りがちな在宅医療に専念しておられる患者様たちにはハッピーな気分を受けていきたいと考えることに心がけています。

院長「挨拶」

# 「あきる台クリニック」



趣味は「格闘技の総合研究」である(医療社会学)の観点から医師としての目で長年、プロレスなどの格闘技界に生ける選手たちの肉体と精神の関係を研究してきました。プロレスやボクシングのコミッション・ドクターの仕事もずいぶん長いこと務めてきましたが、これも「信ずるより確かめよ」の実践活動といえるかもしれません。こんな私ですから、患者様たちとは気楽に、なんでもホンネで話し合えるような、楽しい信頼関係を築きたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

## 平成18年4月は医療制度改革!

医療福祉相談室

### どうなっていくのか? 医療・介護制度

みなさんこんにちは! 日に暖かく、花の美しい季節になりました。先々の話ですが、二十年前に三度の熱を出し、検査するとインフルエンザとの診断にて、五日間病院をお休みしました。その後、花粉症なども重なり、だんだんと調子の悪い日が続きました。ここに来て、やっとスッキリし、ティッシュの量も大分減りました。何事も早めの処置が必要という事ですね。

さて、平成一八年四月はみなさんもご承知の通り、医療制度改革がありました。(毎年あるのですが...) 今年の改正は、介護保険と同時に改正になり、かなり大きな改正の内容となっております。

昨年の十月には四月の介護保険改正前に十月改正があり、主に介護保険施設の給付費が改正されています。介護保険利用者負担額(一分割分)、居住費・食費が大幅に変更になり、制度を利用されている患者様の負担が大きくなりました。この度の四月の改正では、在宅サービスに重きを置いて、改正となり介護予防サービス、「要支援1・2」が新たに加わりました。サービス内容もこれまで以上に介護予防を中心とした内容を中心に地域支援センターを伴って提供します。これに伴い、地域支援センターを伴って提供します。これに伴い、地域支援センターを伴って提供します。

医療福祉相談室  
岩澤元太郎

# 高齢化に伴い増えていく認知症と対応する医療・福祉

## 特集・医療と福祉

◇ 認知症は身近な問題 ◇

平成14年の調査で日本人の平均寿命は、男性78.3歳、女性85.2歳。世界でもトップクラスの長寿国で、それに伴い高齢社会に突入している。認知症の高齢者も年々増加して、平成17年には約190万人、20年後には290万人に達すると予想されている。

◇ 認知症の定義 ◇

認知症は単なる物忘れではない。「物忘れ」とは自然な老化によっておこる。「単なる歳のせい」で誰にでもおこりえる。一方「認知症」は「病気」であり、単なるものわすれではない。  
※認知症とは、脳や身体の疾患を原因として、記憶力や判断力などの障害がおり、普通の社会生活がおこなえなくなった状態。

◇ 「認知症」と「物忘れ」の違い ◇

(物忘れはなせおぼろげ)  
年齢を重ねるうちに、脳の神経細胞の減少という免れることのできない老化現象の影響で、誰にでもおこる「物忘れ」である。  
このような、通常の老化による減少より早く神経細胞が消失してしまう脳の病気、これが「認知症」である。

ご家族の中に「あれ？」と思った症状がみられたら、早めにかかりつけの医師にご相談して下さい。



◆認知症に対応する医療・福祉◆

VI. 認知症に対応する医療・福祉

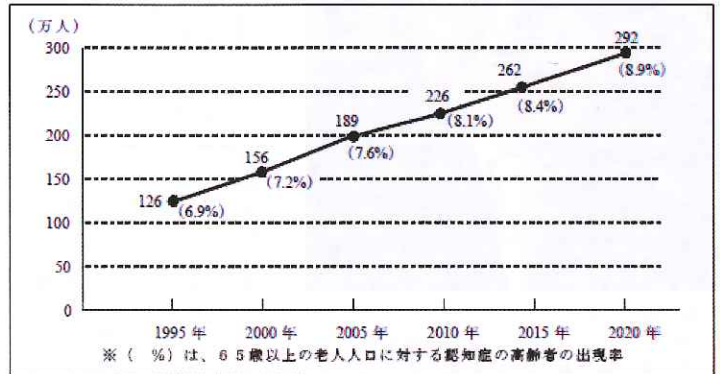
〔図8：施設・サービス〕  
一 看 望 一

介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	常時介護が必要で、自宅での生活が困難な方の施設
介護老人保健施設 (老人保健施設)	病状が安定した状態にあり、介護やリハビリが必要な方の施設
介護療養型医療施設 (療養型病床群、老人性痴呆疾患療養病棟)	上記2施設に比べ、看護や医学的な対応がより必要な方の施設
ケアハウス	介護利用型軽費老人ホームの別称 3種類ある軽費老人ホームの一つで、単に生活になっても自立した生活を送れるように配慮した施設
有料老人ホーム	常時10人以上の高齢者を入所させて、食事その他の日常生活に必要なサービスを提供することを目的とした施設。施設運営等については、都道府県知事に届け出をおこなうとされている。

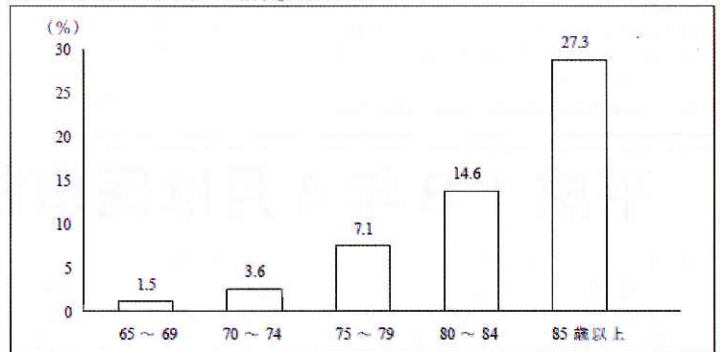
一 サービス 一

訪問介護	ホームヘルパーが自宅を訪問し、入浴、排便、食事等の介護や身の回りの世話をします。
訪問入浴介護	自宅を訪問し、浴槽を提供して入浴の世話をします。
訪問リハビリテーション	自宅を訪問し、理学療法や作業療法など必要なリハビリテーションを行う。
通所介護サービス (デイ・サービス)	日帰り介護施設等で、入浴、食事の提供や身の回りの世話をします。
居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師等が自宅を訪問し、介護に関わる指導を行う。
短期入所生活介護 (ショートステイ)	家族の都合で家庭での介護が一時的にできない場合、短期入所施設等で短期間世話をします。
認知症高齢者グループホーム	認知症の高齢者5～9人程度で共同生活をする施設。

〔図1：認知症の高齢者の推移〕



〔図2：認知症の高齢者の年齢階層別出現率〕



〔図3：要介護認定者における認知症高齢者の推計 (平成14年統計)〕

要介護認定者	居 宅	特 養 老 人 健 康 療 養 型 病 院	そ の 他
314 (万人)	210	32	25
	12	34	

介護保険の相談は



あきる野市在宅介護支援センター あきる台

訪問看護・訪問介護・居宅療養管理指導  
居宅介護支援・通所リハビリ・訪問リハビリ

TEL: 042-550-6101

確かな技術

快適性  
安心

人間ドック



あきる台病院 健診センター

皆様の健康を、心・身・社会の観点から多角的に  
チェック・確認し、適切なサービスで支援します

□ お問い合わせ・ご予約はこちらまで □

TEL: 042-559-5449 / 2943 (直通)